

平成29年度 事業報告

本協会は、鳥取市における都市公園施設等の円滑な管理運営に努め、健全な利用促進と公園愛護意識の高揚を図り、市民福祉の増進に寄与するため、次の事業に取り組んだ。

また、現在指定管理者として指定を受けている都市公園と公園施設等の適切な管理運営を行い、公益目的事業を幅広く実現し、市民の視点に立ったサービスの向上に資するよう事業運営に努めた。

1. 公益目的事業

(1) 都市公園及び公園施設等の維持管理に関する事業

① 公園施設及びスポーツ施設を定例巡回し、施設の状況や植栽の状況並びに遊具を点検し、不備個所の早期修繕等を行い、安全で安心して利用される公園を目標に健全管理に取り組んだ。特に、老朽化したトイレのブースの改修を年次的に行い、快適な利用に供した。

② 真教寺公園(動物公園)、樗谿公園を自然や動物に親しむ公園として質の高い管理を行い、家族、児童等のレクリエーションや研修の場、交流の場として施設の充実に努めた。

特に、真教寺公園では動物とのふれあい体験、段ボール迷路、飼育体験学習などを行い、楽しい公園になるよう努めた。

また、要望・意見箱を常時設置し、希望・要望に迅速に対応する体制をとり、利用者の満足度向上を図った。

動物とのふれあい体験は、青谷あお市等に出張するなど、公園に来られ難い児童にも体験してもらい、大変好評だった。

③ 風紋広場を鳥取市の玄関口として常に快適な広場となるよう維持管理を行い、イベント等の利用促進、協力を努めた。

特に、賑わい創出のためポケットマルシェ(フリーマーケット)を関西から誘致し、出店者の上質な作品が好評だった。

また、夏季の暑さ対策としてミストの設置を行い、涼む人が多かった。

④ 都市公園等において、「市民との協働による公園づくり」を目指し、公園愛護会の自主的活動を重んじる方針のもと、利用者や近隣住民の声を大切にし、各公園の特性を生かした場となるように努めた。

また、ナチュラルガーデンの適切な維持のため、学習会を開催し、協働による緑化の推進に取り組んだ。

⑤ 施設の利用促進を図るため、関係団体と密接な連携を図りながら野球大会等自主事業を実施し、利用者の増加のため、次のような利用者サービスを行った。

- (1) 野球大会、わらべ館との共催事業
 - (2) 美保球場の夜間照明料金減額、利用開始時間の繰り上げ等
 - (3) 梅鯉庵、行徳苑施設内での囲碁盤、将棋盤などの貸し出し
 - (4) 行徳苑内でのそば打ち道具の貸し出し
 - (5) 西町緑地での遊び道具の貸し出し
- ⑥ スポーツ施設利用者の公平と利便を図るため、施設予約システム等の活用と利用調整会を実施して調整を行った。
- ⑦ 公園施設及びスポーツ施設等の利用促進を図るため、広報活動に努めた。
- (1) ホームページによる情報発信
 - (2) 公園愛護会だより等を発行し、情報提供に努めた。

(2)公園愛護会の育成指導に関する事業

- ① 公園愛護意識の普及、高揚を図るため、公園愛護会の育成強化に努め、市民と協働による公園づくりに取り組んだ。
- ② 公園の清掃ボランティアの育成等や公園愛護コンクールを実施し、優良公園の表彰、愛護会長の永年勤続表彰を通して公園愛護意識の高揚に努めた。
- ③ 公園愛護会だよりを発行し、情報提供を行うことで公園愛護意識の高揚に取り組んだ。
- ④ 市民及び公園愛護会に情報発信を行い、各公園愛護会と協働で行うナチュラルガーデンの推進に取り組んだ。

(3)公園・広場等芝生化事業

- ① 公園・広場等の芝生化事業を行い、維持管理のノウハウと技術指導を実施し、協働による芝生管理に取り組んだ。
- ② 公園等新規芝生化を公園愛護会、地域住民と協働で実施し、公園緑化に務めた。

2. その他の事業

(1) バードスタジアム国際交流基金事業

- ① バードスタジアム国際交流基金運用益の管理を行った。